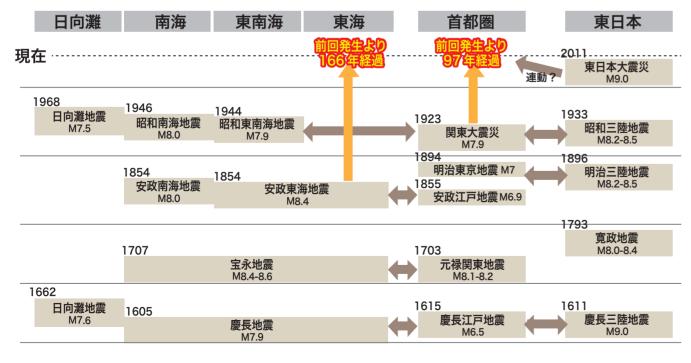




### 災害の多い日本

世界で発生する地震のうち、10%が日本 周辺で起きています。30年以内に震度6弱 以上の揺れに見舞われる確率でも、太平洋沿 岸を中心に広い範囲で高確率となっており、 地震が起きても大切な命と財産を守るために 何ができるのかを考えていくことが重要です。 M8.8 前後 7~40% M7.8 前後 M7.9 前後 30年以内に震度6弱以上が発生する確率 3~6% 6~30% 日本海溝 M8 クラス 0~6% M7 クラス 70% 南海トラフ地震 M8~9 クラス 70~80%



連動と考えられている地震

## 新聞・TVにも取り上げられました

### 街の自販機から緊急時放送



2017年(平成29年)6月25日(日曜日)

三 重 22

柏葉あじさい 無所属 奥山勢津子 (津市高茶层)



NHKおはよう日本



日テレ系列(宮城テレビ・BS日テレ)

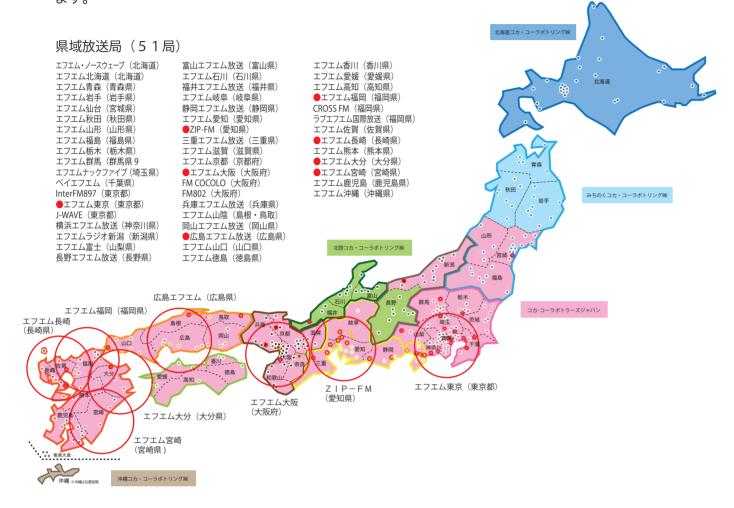


鳥取市を中心に地域情報を発信しているコミュニティー FM局「FM鳥取」が、防災・防犯ラジオ付き自動販売機 の運用を始めた。県内では初めての取り組み。自販機を活 用して、地域の安全・安心に役立てたいという。



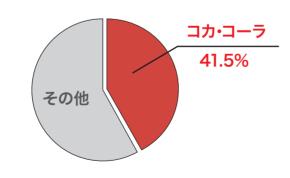
### 全国への設置普及に向けて

全国どこにでも置けるという県域放送局版の最大のメリットを生かし、今後全国へと展開して参ります。 もちろんコミュニティFM版の市町村に関するきめ細やかさも生かしながら、適材適所の導入を進めて参り ます。



#### 設置台数目標

清涼飲料水の自動販売機(牛乳や酒の販売機を除く、 ジュースの販売機) は約212万台。このうち88万台が コカ・コーラ自販機で、シェアは 41.5%に上っています。 当事業では圧倒的なシェアがあり、全国どこにでも設置 が可能なコカ・コーラ社の協力の下、設置を普及して参 ります。またコカコーラ以外の飲料メーカーにも対応し ており、設置先の意向で選ぶことも可能です















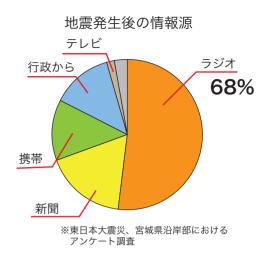






# 災害時はラジオが「命綱 |

乾電池でも動作し自動車にはほぼ 100%搭載されてい るラジオは、大きな災害時には最後まで残るメディアと 言われています。実際に東日本大震災では、災害発生直 後に利用したメディアとしては、ラジオが68%と最も 高く、また発生後1週間で見ると、ラジオは76%へと 上昇しています。



そのラジオを活用し、自動販売機から取り付けたラジオから街行く人に緊急情報を伝達する、街かど 安心安全ラジオ「飲む防災、飲む防犯」事業。この事業は当初、全国のコミュニティFMにてスタート 致しました。コミュニティFMは阪神淡路大震災をきっかけに全国に順次開局しており、放送エリアが 市町村域に限ることから地域密着のお知らせを伝える手段として期待されています。しかしコミュニ ティFMの全国カバー率はわずか19%に留まっており、また電波は20Wという限られた出力のため、 放送エリア内であっても電波が届きにくいという欠点もあります。

コミュニティ FM方式の 問題点

- ・コミュニティFMが全ての市区町村をカバーしていない 全国 1.718 市町村に対し、コミュニティ FMは 335 局 (2021 年 3 月現在) =全体の約19%の市町村しかコミュニティFMが開局していない
- ・コミュニティFMの限られた電波出力(最大 20W)では放送エリア内 でも電波が届かない地域が多く、建物の中では殆ど受信できない

県域放送局 方式の メリット

- ・日本全国、ほぼ全てのエリア(都道府県)をカバー
- ・出力が大きく、広いエリアで聴取でき、屋内でも良好に受信可能 コミュニティ FMの 20Wに対し、県域放送 10kW=10,000W

この防災防犯ラジオ付き自動販売機を全国へ普及させるために、県域放送局を利用した仕組みもス タートさせました。県域放送局は名の通り都道府県単位をカバーするラジオ放送局であり、都市部から 山間部まで広くカバーしています。

近い将来には確実に起こる大災害に備え、この県域放送局版「飲む防災・飲む防犯」の普及に努めて 参ります。

### 飲む防災、飲む防犯自販機の特徴

街中にあって普段から電源に接続されている「自動販売機」に防災ラジオを取り付け、ラジオ局 が放送する緊急情報を街中に流すことができる仕組みが、街かど安心安全ラジオ事業「飲む防災、 飲む防犯」です。

莫大な予算で設置される防災ス ピーカー(同報行政無線)に比べ、 すべて民間の力で設置普及でき、 また駅前や商店街など人の集まる ところに設置できるメリットがあ ります。

	00		TORR BORE
	防災スピーカー	ラジオ受信機	飲む防災。
大規模災害時の緊急放送	0	0	内蔵電池により 約2日間放送可能
防犯のお知らせ	_	0	犯罪の起きやすい 街角に直接放送
犯罪抑止力	_	$\triangle$	不審者情報が放送 されるという抑止力
暴風時の聴取性	×	0	じルのロビーや 駅構内などで放送
設置コスト	×	$\triangle$	すべて民間のため コストはゼロ

#### ● 停電に強い

バッテリーを内蔵しており、停電が発生しても約2日間、情報 を伝達可能。中間のケーブルや中継器を必要としないラジオだ からこそ、災害時に効果を発揮します。

#### ● 広い範囲 ··· 半径 100m

自販機を設置した場所の半径約100メートルの範囲に音声を 伝えることができます。(ボリューム最大時)

#### ●ボリューム機能

設置箇所に応じて音量を調整可能です。屋外、屋内どち らにも設置可能で、病院の待合室や企業のロビーなど普 段人が多く集まる場所に設置が効果的です。

#### ●費用負担ゼロ

自動販売機の設置、管理、運営、取り付ける防災ラジオ受信機 はすべてベンダー会社が負担します。放送局にも設置先にも負 担を掛けること無く、置くことができます。











### 設置イメージ

屋内外問わず、人が多く集まる場所に設置することで、市民へ重要な情報を伝達することに役立ちます。



**※どういった情報を放送を行うかは、それぞれの放送局の放送指針や局と都道府県との協定等に基づきます。** 



動作イメージを動画でご覧頂けます。

スマホで下の QR コードを読み込んで アクセスしてください。



